

## 2017年度事業所向け放課後等デイサービス(YMCAみらい・YMCAきぼう)自己評価結果

	チェック項目	みらい	きぼう	みらい	きぼう	みらい	きぼう	みらい	きぼう	改善目標・工夫している点
		はい		どちらともいえない		いいえ		無回答		
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	3	2	1		1			・みらいは、個別のスペースを確保するために、102にパーティションを設置する。また、使い方やルールの共有を図る。 ・きぼうは、空間は狭いが、小部屋を工夫して使用できている。机や椅子などの配置を工夫し、スペースを有効に活用していく。
	② 職員の配置数は適切であるか	4	3	1	2					・職員の配置数は適切であるが、ボランティアリーダーの参加の把握が直前になることがあるため、予定を前もって把握して調整していく。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		1	1		4	4			
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	3	3	2	2					・職員の意見は取り入れられているが、今後は年数回、職務分掌や役割分担の見直しを図っていく。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	4					1		・毎年アンケートを実施している。 ・今年度より、評価表にもご協力いただく。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	2	1	3	2		1		1	・本年度より、保護者の方へ結果をフィードバックすることとしている。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1		2	3	2	2			
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	5							・内部研修を行うほか、外部研修の情報を回覧し、そのほかの希望の研修も受けられるようにしている。
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	5							
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	2	2	3					・保護者の方から提出されたアセスメントツールを支援につなげるため、読み取り方の研修を検討する。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	5							
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	5							・メンバーからの意見を取り入れ、立案・設定を行っている。 ・固定化しないようにするためにも、多くの職員がプログラムや課題の立案、計画作成にかかわるようにしていく。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	5							
⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	5								
適切な支援の提供	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4		1	3		2			・職員の勤務時間が異なるので、全ての職員が場を共有して行うことは難しいが、日々の打ち合わせや振り返りの内容を、参加できないスタッフにも必ず情報共有していく。また、記録や口頭など、その都度適切な方法で共有を図ることとする。
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	1		4	3		2			
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	5							
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4	4	1	1					
	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	5	5							・行っているが、今後ガイドラインを読み返す機会を定期的に設けていく。

関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	5	1							・児童発達管理責任者に限らず参加するようにしていく。	
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5	4		1							
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	3	1		2	2					
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	2		1			2				

		みらい	きぼう	みらい	きぼう	みらい	きぼう	みらい	きぼう			
チェック項目		はい		どちらともいえない		いいえ		無回答		改善目標		
関係機関や保護者との連携	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等への移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	3	2	2						
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	4	1	1						
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	4	1			1				・法人で合同活動を行っている。 ・同じ遊びを通して、自然に交流できるような活動を検討していく。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	2	1	1	1	1	2	1	1		・情報収集を行い、必要であれば参加する。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	5								
保護者への説明責任等	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	1	1	3	1	1				・スタッフが保護者の方の相談や要望に応じられるよう研鑽を積んでいく。
	㉚	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	5								
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	5								
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	5	1							・親子プログラムや茶話会で、出会いの場を設けていくことは継続する。 ・その他の場を保護者の方が必要としているか、聞き取りを行う。
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3	3	1	2			1			・苦情や要望があった際は、スタッフ間での共有をすぐに行い、途中経過も含めて、保護者の方に迅速にお応えできるようにする。
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	4	1	1						・ブログについては、担当を決めて定期的に発信していく。
	㉟	個人情報に十分注意しているか	5	3		2						・対外的にだけでなく、事務所内でも注意していく。
	㊱	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のために配慮をしているか	4	3	1	1					1	
	㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	2	1	1	2	2				
	非常時の対応	㊳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	2	2	3					
㊴		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	5	1							
㊵		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	5								
㊶		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うのかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	5								
㊷		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示所に基づく対応がされているか	1	1	2	2	2	2				・現在は保護者の方への聞き取りで行っているが、必要に応じて(症状が重い場合等)対応していく。
㊸	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	2	4	3	1							・事例集は作成しているが、過去に起きたことも含めてミーティングで共有し、話し合ったこと、改善策を記録し残していく。